

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 20日

徳島県知事 殿



提出者

住 所 徳島県鳴門市瀬戸町明神字丸山85-1

氏 名 富田製薬株式会社 本社工場

代表取締役 富田 純弘

電話番号 088-688-0511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	富田製薬株式会社 本社工場
事業場の所在地	徳島県鳴門市瀬戸町明神字丸山85-1
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	16：化学工業
②事業の規模	前年度売上げ 188.9億円
③従業員数	669名（パート社員を含む）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	原材料などから生産等各工程を経て、産業廃棄物の排出、中間処理委託に至るまでの、一連の工程のフロー図を別紙（第1面関係）で記載する。

別紙(第1面関係)

産業廃棄物処理の一連の処理の工程

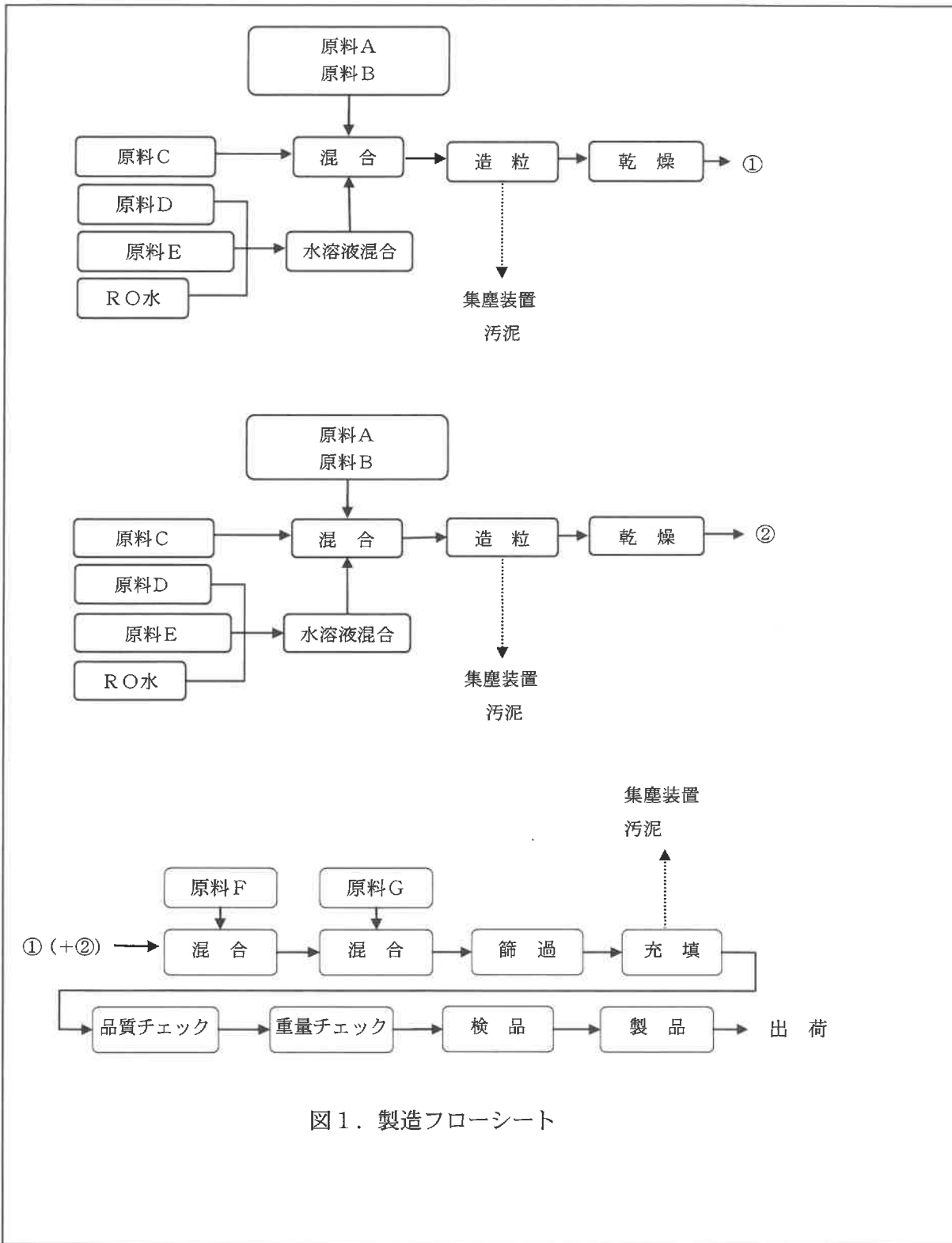
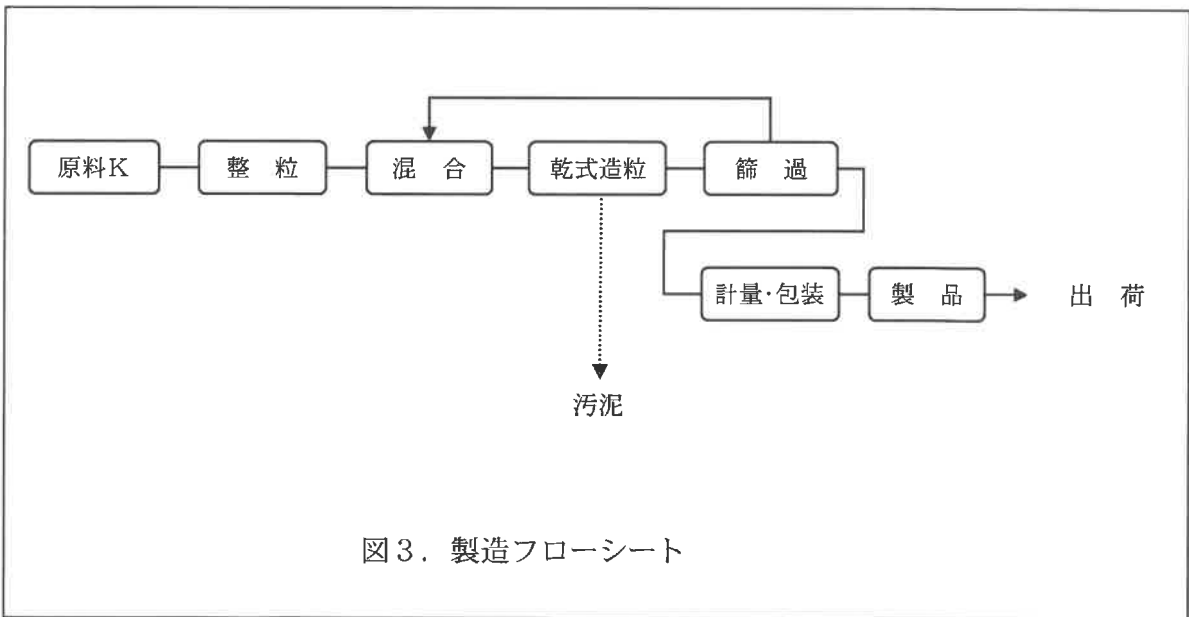
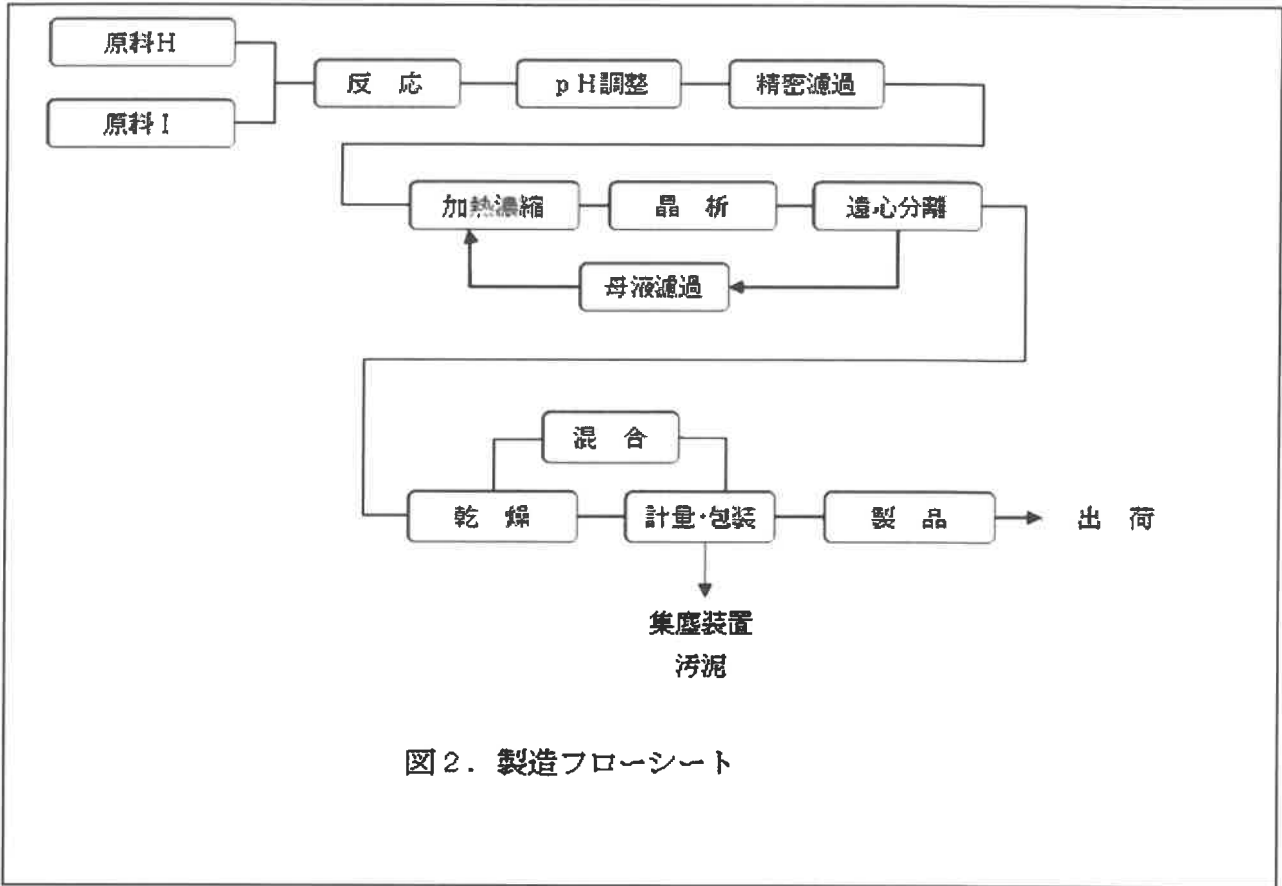
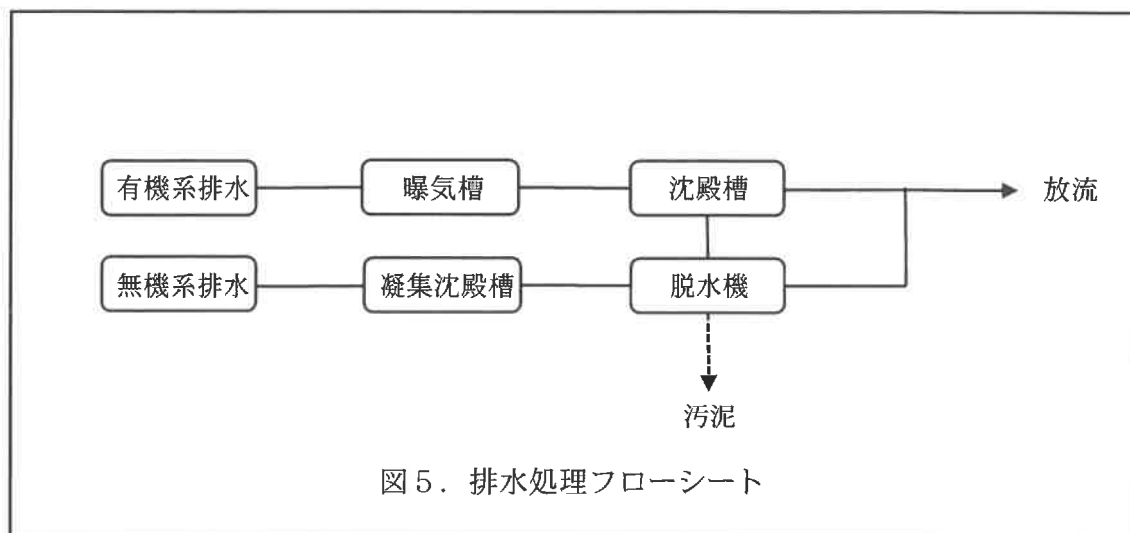
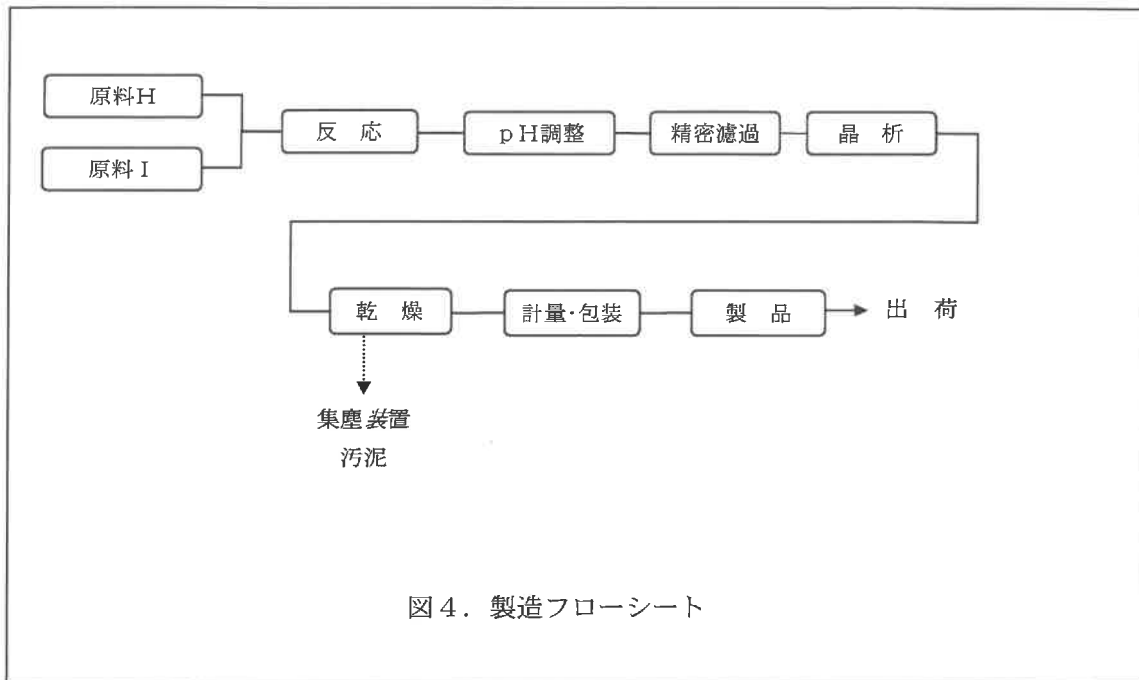


図1. 製造フローシート





産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) ※別紙(第2面関係) 参照			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(令和 4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸・廃アルカリ
	排出量	3030 t	171 t
	(これまでに実施した取組) (汚泥) ・製造設備の更新により製造の効率化を図り発生を抑制した。 ・排水処理設備の増強により排出を抑制した。 ・汚泥の含水率を下げ排出量を抑制した。 (廃酸) ・計画製造、効率化により排出を抑制した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸・廃アルカリ
	排出量	2500 t	170 t
	(今後実施する予定の取組) (汚泥) ・排水処理設備からの汚泥発生量を抑制する。 ・製造設備の更新により製造の効率化を図り発生を抑制する。 (廃酸) ・計画製造の徹底、効率化を図り排出を抑制する。 ※生産量増加見通しにつき、発生量も増加を予定。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・汚泥、廃酸、廃プラスチックは、それぞれ分別保管している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別は現状と同じとして、全従業員に周知し分別を徹底する。		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図) ※別紙(第2面関係)参照		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度(令和4年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類
	排出量	316 t
	(これまでに実施した取組) (廃プラスチック類) ・再生利用するために分別を徹底する。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類
	排出量	310 t
	(今後実施する予定の取組) (廃プラスチック類) ・計画製造の徹底、効率化を図り、排出を抑制する。 ・再生利用可能な袋類の再利用により、排出を抑制する。 ※有価物として処分していた廃プラの産廃化に伴い、排出量が増加。	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・汚泥、廃酸、廃プラスチック類は、それぞれ分別保管している。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別は現状と同じとして、全従業員に周知し分別を徹底する。	

別紙(第2面関係)

管理体制図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	廃プラスチック類	
排出量	3030 t	171 t	316 t	t

産業廃棄物の種類				
排出量	t	t	t	t

②計画

産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	廃プラスチック類	
排出量	2500 t	170 t	310 t	t

産業廃棄物の種類				
排出量	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 4度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸
	全処理委託量	3,030 t	171 t
	優良認定処理業者への処理委託量	3,030 t	171 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) (汚泥) ・無機汚泥の再生利用を図る。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	全処理委託量	316 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	316 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) (廃プラスチック類) ・再生利用するために分別を徹底する。		

別紙(第4面関係)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

産業廃棄物の種類	該当なし			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
産業廃棄物の種類				
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t

②計画

産業廃棄物の種類	該当なし			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
産業廃棄物の種類				
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	廃プラスチック	
全処理委託量	3,030 t	171 t	316 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	3,030 t	171 t	316 t	t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t

産業廃棄物の種類				
全処理委託量	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸
	全処理委託量	2500 t	170 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2500 t	170 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>(汚泥)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水処理設備からの汚泥発生量を抑制する。 ・製造設備の更新により製造の効率化を図り発生を抑制する。 <p>(廃酸)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画製造の徹底、効率化を図り排出を抑制する。 			
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	全処理委託量	310 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	310 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
(今後実施する予定の取組) (廃プラスチック類) ・計画製造の徹底、効率化を図り、排出を抑制する。 ・再生利用可能な袋類の再利用により、排出を抑制する。			
※事務処理欄			

別紙(第5面関係)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

②計画

産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	廃プラスチック類	
全処理委託量	2500 t	170 t	310 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	2500 t	170 t	310 t	t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t

産業廃棄物の種類				
全処理委託量	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t